

地域学校協働活動事業訪問

地域学校協働活動事業の目的は、頑張る学校応援プラン「地域と共にある学校」を踏まえ、地域社会と学校が協働する取組を推進することです。

地域と学校の連携・協働による主な取組は以下の3つです。

- ①地域活動・ボランティア活動（児童生徒が地域住民とともに活動）
- ②放課後等の学習支援
- ③家庭教育支援活動

大玉村の②放課後等の学習支援の様子を紹介します。

大玉村訪問 ～夏休み小学生「おおたま未来塾」（玉井小学校）～

訪問日：平成30年7月27日（金）

場 所：大玉村農村環境改善センター

参加者：玉井小学校5・6年生

内 容：夏休みの友等確かめコース
コンクールチャレンジコース
自由研究コース

～夏休み小学生「おおたま未来塾」（玉井小学校）～は、7月27日（金）と8月1日（水）の2日間行われました。

子どもたちは、地域住民や教職大学院などの学習サポーター8名の支援を受けながら、選択した学習に集中して取り組んでいました。この学習会が、多くの地域のサポーターの協力を得て実施できたことから、大玉村には、これまでの学校支援地域本部、コミュニティ・スクールの取組がしっかりと根付いており、地域全体で子どもを育てるといった環境が整っていると改めて感じました。

参加した子どもからは、

「算数のわからないところがわかるようになってよかった。来年もぜひ参加したい。」

「作文を書くのにサポーターの意見がとても参考になりました。」

「サポーターにアドバイスしてもらいながら実験することができたのでいろいろなことに気づきました。」などの声が聞かれました。

学習サポーターの学生からは、

「1対1で子どもに関われるのでとても勉強になりました。」との声が聞かれました。

今年度は、玉井小学校の他に大山小学校児童対象の学習会も実施されることになりました。また、自由研究コースが新たに設けられました。

このほかにも、中学生の土曜日の学習支援と夏休み・冬休みの長期休業中の学習支援も行われています。

